

一材型

JIS A 6916 建築用下地調整塗材 C-2 表示認証製品

# ロイヤルカチオン

## #10

セメント系下地調整塗材 2種 (カチオンポリマーセメント系)

JIS  
認証

- 工場で厳重な品質管理のもと  
プレミックスをしているため品質が安定

カチオン系  
一材型

- 材料管理・取り扱いが容易なうえ  
施工能率が向上

作業性

- コテ塗り作業性を格段にアップ

強度  
耐久

- 各種下地に対し安定した  
接着耐久性を実現

認証番号 TC 06 08 016

JIS規定塗り厚※	施工可能塗り厚
1~3mm	0.5~2mm

※JIS A 6916、C-2に規定されている塗り厚

標準仕様

性能試験データ

ロイヤルカチオン#10	
適用下地	コンクリート・モルタル・旧仕上げ(タイル・塗料等)
用途	コンクリート等の補修 改修工事のボンタイル、吹付塗装、タイル等の旧下地への伸介接着
練上がり量	コテ塗り 約16ℓ ローラー塗り 約17.5ℓ
標準塗厚	0.5~2mm(JIS規定塗り厚1~3mm)区分C-2
標準施工面積	コテ塗り 約16m <sup>2</sup> (1mm厚/1袋) ローラー塗り 約35m <sup>2</sup> (0.5mm厚/1袋)
標準調合	ロイヤルカチオン#10 20kg/袋 上水道水 コテ塗り 約5.4ℓ ローラー塗り 約8.0ℓ

試験項目	単位	試験結果	JIS A 6916 [C-2] 品質規定
軟度変化	%	-0.5	-20~20
耐ひび割れ性	—	ひび割れなし	ひび割れないこと
耐衝撃性	—	ひび割れ及びはがれなし	ひび割れ及びはがれないこと
付着強さ	標準養生	N/mm <sup>2</sup> 2.0	1.0以上
	低温養生	N/mm <sup>2</sup> 1.7	0.7以上
吸水量	g	0.6	1.0以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性	N/mm <sup>2</sup>	割れ、膨れ及びはがれがなく付着強さが1.3	割れ、膨れ及びはがれがなく付着強さが1.0以上であること

※ローラーの場合はJIS適用外です。  
特殊下地にご使用の場合は、弊社にご相談下さい。

※試験結果は、JIS規格等に規定された条件下で行った試験値であり、実際の施工現場での結果を確実に保証するものではありません。

標準施工方法

**① 下地処理**

- 下地をよく点検して下地の脆弱層、脆弱な旧仕上げ材、レイタンス、油分等を取り除き水洗いまたは高圧洗浄を行い、健全な下地にして下さい。
- 下地清掃後、吸水が激しい下地の場合は「シーラー N #45」の3倍液をむらなく塗布して下さい。

**② 練混ぜ**

本品 ロイヤルカチオン  
コテ塗り…約5.4ℓ  
ローラー塗り…約8.0ℓ  
上水道水

※他の材料は混入しないで下さい。

**③ 塗り付け**

あらかじめ下地処理した施工面に、必ず「しごき塗り」をコテ圧をかけて下地に約0.5~1mm程度すり込むように塗り付けを行ない、ワンテンポ間を空け、少し締まらせてから所定の厚さに塗り付けて下さい。

※尚、塗厚が薄い場合でも「しごき塗り」はモルタルのエア膨らみや浮き防止、ダレの抑制になり付着強度の確保の為に必ず励行して下さい。

**④ 養生**

施工後は通常1週間、冬期2週間以上の養生期間をおいて下さい。

※ドライアウト防止  
乾燥が激しい場合は、施工の翌日に散水養生を行って下さい。  
※白華防止  
梅雨・冬期時は塗り付け後、降雨・降雪に遭うと白華発生の恐れがあるのでシート掛け養生などの適切な防止策をして下さい。

※詳しくは施工要領書及びSDSをお読み下さい。 ※標準仕様以外の施工に関しましては責任を負いかねますのでご注意下さい。



取扱い時の安全対策(概要)

- [1] 取扱い及び保管上の注意**
- 目や皮膚などに触れないように適切な保護具(保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等)を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口など水で洗浄して下さい。
  - 製品は屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。
- [2] 応急処置**
- 目に入った場合: 直ちに清浄な水で最低15分間洗眼し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。
  - 皮膚に付着した場合: 速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
  - 吸引した場合: 速やかに新鮮な空気の場所に移動し、水または温水でうがいをして必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
  - 飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗うなどして、直ちに医師の診断を受けて下さい。  
[まずは、飲み込まないように注意して下さい。]
- [3] 濾出時の注意**
- 飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスcoopで集め空袋などに回収して下さい。
- [4] 廃棄上の注意**
- 廃棄する製品や練混ぜ材などは硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水などの排出は水質汚濁防止法などに注意して下さい。
- [5] 輸送上の注意**
- 破袋、荷崩れ、落下などの防止を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※安全についての記載は現時点で入手できた資料及び情報にもとづいて、通常取扱いを対象に作成しています。しかし、現場での結果を確実に保証するものではありません。安全には十分にご注意の上お取扱い願います。



使用上の注意事項

- 本品は厳重な品質管理のもとに製造している既調合品です。指定材料以外の材料を練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。
- 練混ぜた材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用して下さい。練足しや加水して練戻しをしないで下さい。
- 強風や直射日光などによる乾燥を防止するために、シート養生などの適宜な措置をして下さい。
- 本品使用時の施工は、気温が5℃~35℃の範囲内で行って下さい。
- 製品の製造年月日を確認し、製造から6ヶ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊運



ISO 9001

本社 〒546-0003  
大阪市東住吉区今川3丁目12番4号  
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133  
URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004  
西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133